

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

少子高齢化や人口減少に伴う労働力の減少が深刻化しており、定年延長や継続雇用制度の普及といった労働環境の変化により、全国的にシルバー人材センターの会員数は減少傾向にあります。

立山町シルバー人材センターの会員数も、いろいろな方策を取り入れ会員の増に努めましたが2名の減少となりました。

当シルバー人材センターの経常収益金額は89,130千円で、前年度より759千円の増額となりました。受託事業収益と施設管理事業等受託収益が増額となっております。

今後も、会員・役職員一人ひとりが知恵を出し合い、人との交流や社会とのつながりの場として、具体的に行動することにより地域社会に貢献し、活力を生むシルバー人材センターとなるよう努めていきたいと考えています。

1 会員の状況

令和4年度末の会員数は156名でしたが、令和5年度の新規入会者24名、退会者26名で、令和5年度末会員数は2名の減少となり154名となりました。

全国的な会員減少傾向のなか、会員募集の新聞折込や会員による一人一会員確保の推進、お友達紹介キャンペーンの実施などにより、会員の減少には一定の歯止めがかかったものと考えています。

なお、男女の内訳は男性90名、女性64名となっており、引き続き、新規の会員や女性会員の加入促進にも努力したいと考えています。

2 就業機会の拡充

(1) 就業機会の目標

就業率については、対前年比0.7ポイント減の、72.1%となりましたが、会員が希望する職種と受注業務の調整がつかない案件が見られることから、受注業務の新規開拓に努めていきたいと考えています。

受注件数は対前年比で24件減の944件、就業延べ人数は69名減の12,457名となりました。延べ人数の減少は、福祉施設等々の受注減によるものです。

派遣とあわせた受注件数全体では、対前年比で22件減の956件、就業延べ人数では1,241名減の14,226名となります。

(2) 受託事業の状況

配分金受託事業収益は、前年実績を421千円下回る48,754千円となりました。減少した要因として、今もなお新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、就業延べ人数の減少が、配分金収入の減額になったものです。

3 安全適正就業の徹底

令和5年度は人身事故が2件、物損事故は3件、合わせて5件の事故が発生しました。前年度に比較し、同数となります。

「安全と健康は全てに優先させる」を基本理念として、安全教育や就業現場の巡回・安全パトロール等も実施していますが、依然として事故が発生しています。引き続き安全教育の徹底を図るとともに、指差呼称の実践などにより、事故の減少に努めていきたいと考えています。

4 総合公園施設の利用促進

屋内グラウンドなど総合公園施設の予約状況が総合公園ホームページから確認できるシステムを導入しています。パソコンやスマホから、施設の空き時間を確認できることから、空き時間を指定した予約が増え、予約利用全体の向上につながっていると思われます。

また、以前は窓口やファックスで提出していた抽選申込書が、総合公園のホームページから抽選申込みすることができるようになっています。

さらには、立山町によるLED照明交換工事により、利用者から明るくなり快適であるとの評判を得ています。

令和6年3月には、多目的グラウンド横の東屋も改修され、利用者の増が見込まれます。

5 会員研修など

- 交通安全講習 5月31日総会終了後開催
- 生前整理講座 9月29日たてやまドーム
- 安全運転講習 10月4日午前・午後の2回立山町総合公園内
- 令和5年度「シルバーの日」10月11日にボランティア活動を実施、その後、午前中に草刈講習会とドローン講習会、午後からは、縄縛り講習会及び消しゴムはんこ講習会を開催しました。
- 安全就業研修会・就業相談会 2月5日元気交流ステーション大会議室

6 コンビニ収納状況

平成29年4月から本格的に導入した作業代金のコンビニエンストアでの取り扱いについては、作業代金支払者の約42%（金額では約17%）が利用され、利用できる店舗が多いことや取扱時間が長いこと、手数料が割安などで利用増につながっていると考えられます。また、令和3年9月よりペイペイ並びにラインペイの請求書払いも利用できるようになり、引き続き、コンビニ支払いを推進していきます。